

令和4年度 岡山県立勝間田高等学校 学校経営計画書

I 校訓

<input type="checkbox"/> 質実剛健	安達清風先生の「有効学舎」建学の精神を継承
<input type="checkbox"/> 種徳共生	創立100周年記念に21世紀を切り拓く後輩へ、先輩から送られたメッセージ
<input type="checkbox"/> 至誠実行	平成17年4月引き継いだ、日本原高校の校訓

II 県が示す本校のスクールミッション

幅広い知識と教養を培い、多様な学習ニーズに応える学校として、生徒の幅広い進路希望に対し、森林や自動車などの特色ある系列での学びや、積極的な地域との連携により、身に付けた専門知識や技術を活用する教育活動を通して、得た資質・能力を発揮することで、社会的・職業的に自立し、地域社会の発展に貢献する人材の育成を目指す。

III 学校教育目標（学校のミッション、使命・存在意義）

- 1 誠実・明朗で勤労精神にあふれ、真摯に努力する心身共に健全な人材を育成する。
- 2 自律と責任のもと創意工夫により社会の変化に積極的に対応し、地域社会や農業関連産業に貢献する人材を育成する。
- 3 郷土の文化や自然を愛し、心豊かで生涯にわたり学び続ける姿勢をもった人材を育成する。

IV 学校内外の環境分析 「強み・弱み」 ※（R4年2月22日 第3回学校運営協議会にて）

	内部環境	外部環境															
強み	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校運営協議会がある ○ 教職員に協働体制がある ○ 多様な専門性を持つ教職員集団の存在 ○ 教育施設・設備の充実 ○ 5つの専門系列（コース）がある ○ 地元を支える人材を育成している ○ 専門機関(SSW・SC・警察等)との強い連携 ○ 生徒指導数の減少 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域との連携が強い 【交流活動・小中学校連携・ボランティア活動が充実】 ○ 勝央町からの支援あり（町内唯一の高校） ○ 勝央町に中核工業団地がある ○ 勝央町の人口(1万人)は維持状態 ○ 地域への貢献度が上昇している ○ 進路実現に対して「面倒見が良い」イメージあり 															
弱み	<ul style="list-style-type: none"> □ 教職員間での情報共有や連携不足 □ H23から12年連続定員割れ □ 生徒数減少（教員数減少） □ 教員の多忙感・疲弊感 □ 要支援生徒対応の増加（通級導入） □ 学習・生活習慣に課題ある生徒の増加 □ 原級留置者が多い □ 自己肯定感が低い生徒が多い 	<ul style="list-style-type: none"> □ 『問題行動多い』『学力低い』のイメージあり □ 公共交通機関の利便性が悪い □ 美作学区の中学校卒業生数の減少実態 ※H30～R10(10年間)約330人 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td>高校入学年度</td> <td>H30</td> <td>R3</td> <td>R6</td> <td>R10</td> </tr> <tr> <td>卒業見込者数</td> <td>2,084</td> <td>1,963</td> <td>1,868</td> <td>1,756</td> </tr> <tr> <td>募集学級数</td> <td>39</td> <td>37</td> <td>34</td> <td>32</td> </tr> </table>	高校入学年度	H30	R3	R6	R10	卒業見込者数	2,084	1,963	1,868	1,756	募集学級数	39	37	34	32
高校入学年度	H30	R3	R6	R10													
卒業見込者数	2,084	1,963	1,868	1,756													
募集学級数	39	37	34	32													

V ミッションの追求を通じて、実現しようとする本校のビジョン（将来像・目指す姿）

- ◎ 地域や社会で活躍・貢献できる人材の育成
- ① 社会に通用する生徒
 - ② 専門知識・技術を身に付け、活用できる生徒
 - ③ 勝間田高校に『誇り』をもてる生徒

VI 本年度の重点目標と具体的な取組

～生徒が『誇り』を持つために～

- 1 学力向上
基礎・基本の徹底 専門知識・技術の習得 ICT・学び合いによる学習活動の充実
- 2 生活習慣の確立
ルールへの遵守 挨拶の励行 自己管理の向上
- 3 進路実現
キャリア教育の充実 学校生活(部活動・資格取得等)の充実
- 4 情報発信・広報
地域人材の活用 SNSの活用

VII 生徒の声（R4年度に向けた、スクールミーティングのテーマ）

- ◎入って良かったと言える学校

